

平成30年度 第2回

市町村議会議員特別セミナー

急速な少子高齢化により、日本の高齢化率は27.3%(平成28年10月現在)、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には30%になると見込まれています(平成29年版高齢社会白書)。世界に類を見ないスピードで進行する超高齢社会において、様々な課題に直面することが予想されます。

今回の研修では、生産年齢人口減少による労働力不足や、単身高齢者の増加に伴う介護・看取り、生き甲斐づくり等、今後早急な対応が必要になると思われる課題について、各分野でご活躍の著名な先生方よりご講演いただき、多角的に考えていきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

平成30年

8月2日(木)

生涯現役社会の条件

慶應義塾学事顧問·慶應義塾大学客員教授 清家 篤氏

充氏

無縁社会・老人漂流社会 ~取材現場より~

NHK名古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー 板垣 淑子 氏

平成30年

8月3日(金)

変化する地方行政とその対応

京都産業大学法学部教授・学長補佐(前京都府知事) 山田 啓二氏

インクルーシブ社会に向けて

パラアイスホッケー銀メダリスト(バンクーバーパラリンピック)、 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事、 北海道新聞パラスポーツアドバイザー **永瀬**

開催要領

□程 平成30年8月2日(木)~8月3日(金)(2日間)

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 市区町村議会議員の皆さま

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 200人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく 場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備、事前学習にかかる費用は含まれておりません。また、最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年6月20日(水)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書により<mark>議会事務局を通じて</mark>FAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集 (https://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

8月 2日(木)

11:00~ 入寮受付•昼食

13:15~14:45 生涯現役社会の条件

慶應義塾学事顧問・慶應義塾大学客員教授 清家 篤氏

15:05~16:35 無縁社会・老人漂流社会 ~取材現場より~

NHK名古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー 板垣 淑子氏

17:30 ~ 交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

8月 3日 (金) 9:00~10:30 変化する地方行政とその対応

京都産業大学法学部教授・学長補佐(前 京都府知事) 山田 啓二氏

10:50~12:20 インクルーシブ社会に向けて

パラアイスホッケー銀メダリスト(バンクーバーパラリンピック)、 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事、

北海道新聞パラスポーツアドバイザー 永瀬 充氏

12:20~12:30 閉講•事務連絡

講師紹介

慶應義塾学事顧問・慶應義塾大学客員教授 清家 篤氏

日本私立学校振興共済事業団理事長、慶應義塾学事顧問、慶應義塾大学客員教授。博士(商学)、専攻は労働経済学。1992年慶應義塾大学商学部教授、2007年より商学部長、2009年5月から2017年5月まで慶應義塾長。この間、社会保障制度改革国民会議会長(内閣)、日本私立大学連盟会長、日本労務学会会長、ハーバード大学客員教授などを歴任。現在、経済社会総合研究所名誉所長、社会保障制度改革推進会議議長、産業構造審議会委員・同製造業分科会長(経済産業省)、ILO仕事の未来世界委員会委員などを兼務。主な著書に『金融ジェロントロジー』(編著)東洋経済新報社(2016年)、『雇用再生』NHKブックス(2013年)などがある。2016年、フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章。

NHK名古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー 板垣 淑子 氏

東北大学法学部卒業後、1994年NHK入局。NHK報道局・社会番組部「クローズアップ現代+」などを経て、現在、NHK名 古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー。NHKスペシャル「ワーキングプア〜働いても働いても豊かになれない〜」 (2006年)でギャラクシー賞大賞を受賞、「無縁社会〜"無縁死"3万2千人の衝撃〜」(2010年)で菊池寛賞を受賞。その後、「老人漂流社会」シリーズで、「"老後破産"の現実」(2014年)、「親子共倒れを防げ」(2015年)の番組制作にあたり、チーフ・プロデューサーを務める。

京都産業大学法学部教授・学長補佐(前 京都府知事) 山田 啓二氏

東京大学法学部卒業。自治省入省後、和歌山県総務部地方課長、国際観光振興会サンフランシスコ観光宣伝事務所次長、高知県総務部財政課長、自治省行政局行政課理事官、内閣法制局参事官、国土庁土地局土地情報課長、京都府総務部長、京都府副知事等を経て、2002年4月より京都府知事。2018年4月に任期満了で退任するまで、4期16年府政を担う。2011年から全国知事会長を4期7年務めた。2018年より京都産業大学法学部教授・学長補佐を務める。

パラアイスホッケー銀メダリスト(バンクーバーパラリンピック)、 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事、北海道新聞パラスポーツアドバイザー **永瀬 充** 氏

1976年生まれ。北海道旭川市出身。高校1年生の時に神経の難病により歩行困難となる。1995年(19歳)、入院中にパラアイスホッケーを知り、退院後に始める。1998年長野パラリンピックにゴールキーパーとして出場。2000年世界選手権で世界オールスターメンバー(ベスト6)に選出される。同年、カナダに留学して地元チームでホッケーをしながら、大学で障害者支援について学ぶ。2002年ソルトレークシティ、2006年トリノパラリンピックに出場。2010年バンクーバーパラリンピックで銀メダルを獲得。2015年引退。10年以上、障害者相談支援センターで働き、2017年より北海道新聞パラスポーツアドバイザーとして取材活動や講演活動を行っている。日本パラリンピアンズ協会の理事も務める。障害があってもなくても一緒にスポーツを楽しめる地域づくりのために奮闘中。